

山海経の神々と妖怪の視覚化

Visualization of The Gods and Monsters in The Shanhaijing

林文源

指導教員：小出昌二

拓殖大学 工学部 デザイン学科

視覚デザイン研究室

キーワード：古代の中華文化、神話、伝統文化

1. 研究の背景と目的

グローバル化の発展に従い、多様な情報を手にいれやすい時代になってきて、人々の交流が便利になった。特に外国の文化が入流しているため大きな文化進化をもたらしている上で、文化大革命で中華の伝統文化の伝承に影響を与えた。さらに、学校での伝統文化についての教育不足が原因で、若者は伝統文化の関心が低下しているのが最大の一つの問題であると中国日報(2018年12月29日)では述べている。伝統文化は重要なものであり、その民族の特徴、信仰、道徳、精神、価値観と世界観などに関連させて、中国の若者(10代、20代)に伝統文化の関心を高めようと考えた。そのため中国の古書「山海経(センガイキョウ)」(図1)をモチーフにして山海経の物語を再現する。視覚表現にすることによって文字よりイメージが伝えやすくなる。そこで「山海経」にある神々と妖怪を視覚化することにした。

「山海経」は秦の時代で作られた百科全書と言われる。当時の地理、風俗、神話、巫術などを記録され、内容は十分詳しく、古代の中華文化に関する研究に重要な役割を果たす。そして、「山海経」の一部は多くの神話や伝説がある。例えば、「夸父逐日(かほちくじつ)」(図2)や人類を創造したの女神「女媧(じょか)」などである。「夸父逐日」では、夸父は能力を弁えずに太陽に追いつこうとして追いかけたが、喉の渇きから黄河(こうが)と渭水(いすい)の水を飲み干しても足りず、大沢の水を飲もうとしたが、道中で喉の渇きが原因で死んだ。その後、夸父の肉体が夸父山になったという神話である。

2. 研究の方法

①「山海経」に関する文献で資料を集めて理解する。

②現在ある明や清の時代に書いた「山海経」の絵の特徴を分析し、現代の若者が好きな挿画のようにデザインする。

③「山海経」にある神々や妖怪の中から50個選ぶ。決めた神々や妖怪の時代を調べて、その時代の衣装、紋様と配色などを参考してイラストで視覚化する。

3. 研究成果

「山海経」に関する文献を読んで、「山海経」は最初から図のみの本であり(図3)、時代の変化につれ、様々なものを収録して、今のような図と文字を含める「山海経」になったことが明らかになった。そして、明や清の時代に書いた「山海経」の絵は西洋の絵のような立体感や明暗の関係などを過度に追求することではなく、線と色でモノの形の美しさを表現することが多い分かった。近年日本の挿絵のソーシャルゲームやカードゲームなどが中国の若者に非常に人気があり、日本のアニメ塗り(図4)、ブラシ塗り(図5)、厚塗り(図6)とギャルゲ塗り(図7)などは若者に目を引きやすい。特にアニメ塗りとブラシ塗りは明と清の時代の絵と同じように黒線をよく使う。

中国の若者の特徴

1. 多様性

異文化に好奇心が満ちて、受け入れやすい。

2. 感情化

強烈な視覚刺激を追求して、自由的に感情を表す。

3. 流行性

伝統文化を排斥して、流行文化を求める。

日本のアニメやゲームは中国の若者に非常に人気があり、目を引きやすい理由で日本のブラシ塗りbの手法で二つキャラクターを書いてみた(図10)(図11)。



図 1 山海経

図 2 夸父逐日

図 3 刑天図

アニメ塗りは、ぼかしを使わず、境界がハッキリしたエッジの強い影やハイライトのみで塗る技法だ(図 4)。



図 4 アニメ塗り (ニコニコ静画より引用)

ブラシ塗り影の境目にぼかしを使って、グラデーションなどを活用し、ブラシで書いたような柔らかいタッチを表現する塗り方だ(図 5)。



図 5 ブラシ塗り(イラスト・マンガ描き方ナビより引用)

厚塗りは筆の筆跡を活かし、絵の具を塗り重ねたようなタッチの描画方法だ(図 6)。



図 6 厚塗り (創造ロゴより引用)

ギャルゲ塗りの境界をぼかしたような塗り方で、ブラシ塗りに似ている。しかし、ハイライトや影の入れ方で、より艶っぽく見せるのがギャルゲ塗りの特徴だ。(図 7)



図 7 ギャルゲ塗り (冴えない彼女の育てかたより引用)



図 8 共通点と相違点

共通点：

「山海経」の図はアニメ塗りやブラシ塗りと同じように黒線を使う。そして、大面積に同じの色を塗る(図 8)。

相違点：

アニメ塗り明暗の関係と立体感を表現する。ブラシ塗りのほうは影は柔らかくで物体の質感を感じる。「山海経」の図は立体感と明暗の関係はない(図 8)。



図 9 陰陽師(陰陽師サイトより引用)

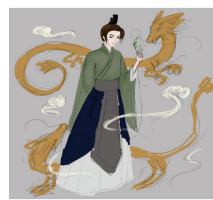


図 10 春の神「句芒」



図 11 「西王母」

4. 今後の予定

残ったキャラクターをイラスト化する。

参考および引用文献

- 1) 「観山海」 湖南文藝出版社 曾賽豊 (出版者)
- 2) 「山海経」 平凡出版社 高馬三良 (訳)
- 3) 「山海経」 現代出版社 徐客 (編集)
- 4) 四字熟語辞典オンライン
<https://yojii.jitenon.jp/yojik/5103.html>
- 5) 中国日報
[https://baijiahao.baidu.com/s?id=1621170038680682859&wfr=spider&for=pchttps://baijiahao.baidu.com/s?id=1621170038680682859&wfr=spider&for=pc](https://baijiahao.baidu.com/s?id=1621170038680682859&wfr=spider&for=pchttps://baijiahao.baidu.com/s?id=1621170038680682859&wfr=spider&for=pchttps://baijiahao.baidu.com/s?id=1621170038680682859&wfr=spider&for=pc)
- 6) 陰陽師
<https://yys.163.com/shishen/338.html>
- 7) 冴えない彼女の育てかたギャルゲーカバーソングコレクション
<https://www.aniplexplus.com/itemNuIUCdmg>
- 8) 創造ロゴ <http://souzoulog.com/>
- 9) ニコニコ静画 <http://seiga.nicovideo.jp/seiga/im7792136>
- 10) イラスト・マンガ描き方ナビ
<https://www.clipstudio.net/oekaki/archives/153050>
- 11) 「」デジタルイラストの「塗り事典」 編著者 NextCreator 編集部
- 12) 大学生的审美特征及其美育原则 吕秀霞 (作者)
<https://www.ixueshu.com/document/8b4787e20a8e2090318947a18e7f9386.html>